



活動Pickup

2023年1月～2023年6月

Software Everywhere

すべてはソフトウェアで動く、これからのデジタル社会へ

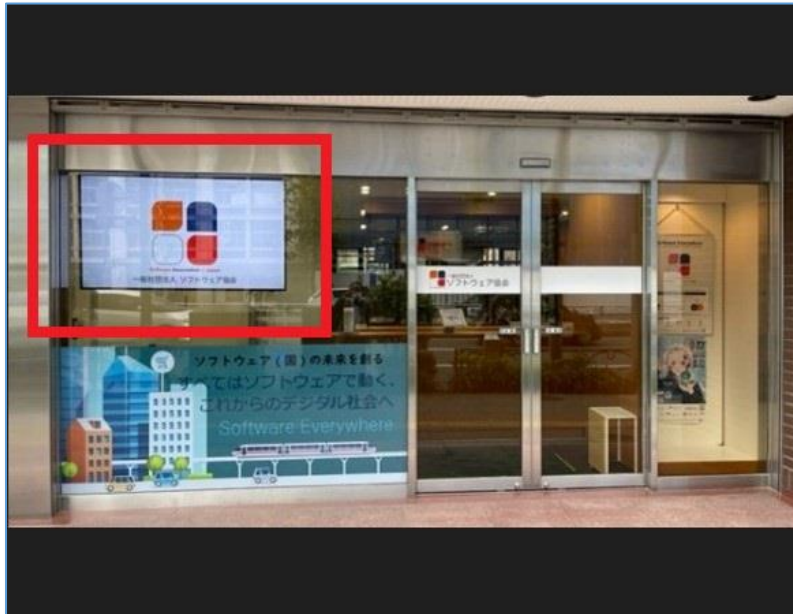
1. オウンドメディア	P.3
2. SAJ1階会員スペース	P.4
3. 政策提言・意見交換	P.5
4. 視察ツアー	P.8
5. イベント	P.10
6. ビジネスマッチング	P.20
7. 情報提供セミナー	P.22
8. ニュースリリース	P.36
9. 実施事業	P.37
10. 告知	P.43

SAJ活動を協会内外にしっかりと広報し、SAJのプレゼンスを高めていくため、各委員会・研究会専用のFacebookページを開設し、それぞれがいつでも活動告知・報告を紹介可能となるとともに、投稿記事が自動転載されるオウンドメディアを開設しました。

オウンドメディアに集まった情報を確認することで、各委員会や研究会のリアルな活動内容・雰囲気を感じることができるようになりました。



令和5年3月、ソフトウェア協会事務局の1階に、会員サービスの一環としてデジタルサイネージやセミナースペース、ワークスペースを新設しました。皆さまぜひご活用ください。



2023年2月27日（月）、3月14日（火）

ソフトウェア協会（SAJ）として追加政策要望をとりまとめました

2022年8月25日（木）に日本IT団体連盟に提出しました政策要望に追加してとりまとめた10項目について、あらためて日本IT団体連盟および関係省庁へ、追加要望を提出しました。要望項目一覧は以下の通り。

要望項目一覧

1. パテントボックス税制による優遇税率の適用
2. 「IT導入補助金によるクラウドの一層の普及促進」への追加
3. NISC(内閣サイバーセキュリティセンター)、デジタル庁、及び全府省等のデータ消去のガイドライン化
4. 病院情報システムのセキュリティ診断の実施と改善項目に対する補助金交付制度（複数年度）
5. 地域セキュリティオペレーションセンターの創設
6. 医療情報システムのモデル契約策定
7. 行政機関が実施するアンケートでのExcel VBAの利用停止もしくは電子署名の実施
8. 介護分野・産業のDX支援の強化
9. デジタルを活用した一般用医薬品の柔軟な購入・受取の実現
10. 日印租税条約12条の技術上の役務に対する源泉税の撤廃

中国吉林省訪日団との交流会

- 開催日：2023年4月6日（木）
- 会場：SAJセミナールーム
- 参加：13名（中国側）／7名（SAJ側）
- 概略：中国吉林省の概要および参加各社の紹介
SAJ会員企業との協業やオフショア開発の可能性について など



九州経済産業局、東北経済産業局へ訪問とDX NEXT TOHOKUとの交流会

- 開催日：2023年3月15日（水）、2023年4月14日（金）
- 内容：地域デジタル推進委員会では全国に地区担当理事、主査を配置して活動を活発化。それに伴い地域経済産業局へ訪問し地域活性化に向けた活動実施まずは九州、東北を皮切りにスタートを切りました。



若手実務者親睦イベント 第3回会員企業視察@日本マイクロソフト

- 開催日：2023年3月15日（水）
- 会場：日本マイクロソフト株式会社
- 参加：19社31名
- テーマ：ハイブリッドワークを支える最新技術を体験しよう
- 概略：1. 委員長、日本マイクロソフト株式会社様挨拶
2. 日本マイクロソフト株式会社様 製品・サービス説明・体験
3. 社内視察
4. 懇親会（@日本マイクロソフト株式会社 カフェテリア）



第2回行政視察・社会見学 @JAXA宇宙航空研究開発機構

- 開催日：2023年 5月19日（金）
- 会場：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
- 参加：28社34名
- ご挨拶：JAXA監事 小林 洋子 氏（於：広報・情報棟 視聴覚室）
- 宇宙飛行士養成エリア、「きぼう」運用管制室 見学
- 記念撮影（於：ロケット広場）
- 展示館「スペースドーム」、スペースキューブ見学
説明：A 班：筑波宇宙センター所長代理 向井 浩子 氏
B 班：筑波管理部特任担当役 藤本 信義 氏
- タイトル：「JAXAの人工衛星による観測情報の利用」（於：記者会見室）
講演者：石澤 淳一郎 氏（第一宇宙技術部門衛星利用運用センター 技術領域主幹）
- 懇親会：（@ホテルマロウド筑波 1階 宴会場 金の間）



イベント -新年賀詞交歓会-(1/2)

2023年1月18日 (水)

SAJ令和5年新年賀詞交歓会

令和5年1月18日(水)、帝国ホテルにて、一般社団法人ソフトウェア協会の令和5年新年賀詞交歓会を3年ぶりに開催いたしました。

開催に先立ち、SAJ会長 田中 邦裕より皆様への新年のご挨拶として、昨年は、グローバル経済の不安定さがさらに増した年となったが、日本のIT業界は、デジタル庁のクラウドバイデフォルトの考えをベースに、まだまだ取り組むべきことは多く、「上げの局面」にきている。SAJの会員企業の皆様とこの時代をしっかりと歩んでいきたいと述べ、開会しました。

その後、ご来賓を代表して、日頃業界活動や当協会の活動に多大なるご支援をいただいておりますデジタル副大臣 大串 正樹様、経済産業大臣政務官 長峯 誠様、衆議院議員 小林 史明様にそれぞれご挨拶を頂戴いたしました。



イベント -新年賀詞交歓会-(2/2)

その後、富士通株式会社の古賀 一司執行役員EVPから、今後のソフトウェア産業の発展を祈念し、乾杯を頂戴し、宴が始まりました。



開会後は、ご参加いただきました皆様による、新年のご挨拶や名刺交換、意見・情報交換など大変活発な交流が行われました。



イベント - 藍綬褒章受章記念祝賀会-(1/2)

2023年2月17日（金）

水谷学氏 藍綬褒章受章記念祝賀会

令和4年11月2日付けで発表されました「秋の褒章」において、水谷 学氏（SAJ名誉顧問、ピー・シー・エー株式会社 取締役相談役）が公共の利益を増進した功績が顕著とみられる者に授与される「藍綬褒章」を受章されたことを受け、令和5年2月17日（金）、帝国ホテルにて水谷学氏藍綬褒章受章記念祝賀会を開催いたしました。

発起人代表：田中 邦裕

発起人：青野 慶久、伊藤 裕二、宇佐見 潮、浦聖 治、
襟川 芽衣、岡本 浩一郎、荻原 紀男、金成 葉子、
北原 佳郎、小柳 諭司、笹岡 賢二郎、佐藤 文昭、
佐藤 亮太、杉本 淳一、鈴木 正之、武井 千雅子、
田中 啓一、富田 祐子、豊田 崇克、中村 憲司、
長谷川 章博、原 洋一、福智 道一、藤井 洋一、
別所 直哉、村瀬 正典、山本 博士、和田 成史



イベント - 藍綬褒章受章記念祝賀会 - (2/2)



第1回SAJ親睦ボウリング大会

- 開催日：2023年2月28日（火）
- 会 場：東京ポートボウル
- 参 加：22社28名
- 概 略：初開催ながら28名と多くの皆様にご参加いただき、ゲーム中は皆様大変盛り上がり、懇親会ではご挨拶や情報交換、お知り合いのご紹介など活発な交流が行われました。



2023年5月10日（水）

第13回SAJ幹部と新入会員との懇親会

令和5年5月10日（水）、2022年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第13回SAJ幹部と新入会員との懇親会を、「東京虎ノ門グローバルスクエア コンファレンス」にて開催いたしました。

当日は、18社／31名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢57名の参加となり盛況な懇親会になりました。



第16回SAJ会長杯親睦会

- 開催日：2023年5月20日（土）
- 会 場：金乃台カントリークラブ
- 参 加：44社55名
- 概 略：日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。プレー後は、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせて表彰式が行われ、皆様のご協力により無事に終了いたしました。次回第17回会長杯親睦会は、令和5年11月11日（土）（於：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎）を予定しています。



2023年6月14日（水）

令和5年度 第38回 定時総会

令和5年6月14日、The Okura Tokyo「平安の間」において、第38回定時総会が開催されました。今回は総会のスムーズな運営の為、正会員の皆様には、事前に議決権行使書をご提出頂きました。

議決権行使書331件（委任状209件、議決権行使書122件含む）、及び300名の出席により、定時総会は無事開催され、次の議案について審議されました。

第38回 定時総会 議案書（会員限定）

・ 決議事項

第1号議案 令和4年度事業報告および決算報告承認の件

第2号議案 理事の選任について

・ 報告事項

1. 令和5年度事業計画および収支予算書について

2. 令和5年度SAJ功労賞等の受賞者発表



SAJ功労賞等表彰式／特別講演／第38回定時総会懇親会

定時総会終了後、SAJ役員功労賞等表彰式、特別講演、懇親会が開催されました。

• SAJ功労賞等表彰式

- 令和5年度SAJ役員功労賞受賞者：岡本 浩一郎 氏
- 令和5年度SAJ活動功績賞：ブレイクモア法律事務所



• 特別講演

定時総会後には、「新しいゲームをしよう。～AI時代の国づくり。インフラの変革から始める。～」と題し、特別講演が開催され、約300名の方が聴講されました。

講演者：小林 史明 氏（衆議院議員）



SAJ功労賞等表彰式／特別講演／第38回定時総会懇親会

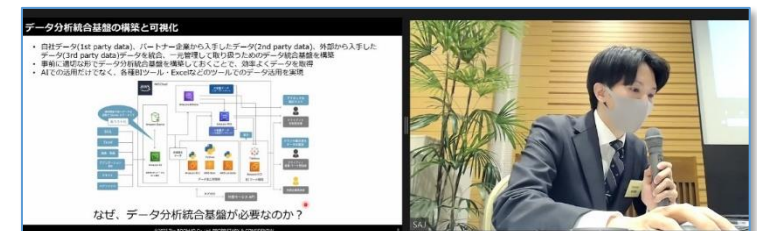
定時総会終了後、SAJ役員功労賞等表彰式、特別講演、懇親会が開催されました。

・定時総会懇親会

定時総会・特別講演後に開催された懇親会では、約480名の皆様にご出席を賜り、田中 邦裕会長が開会の儀を述べた後、西村 康稔経済産業大臣、河野 太郎デジタル大臣、平井 卓也衆議院議員より、ご挨拶をいただき、遠藤 信博日本電気特別顧問/経団連副会長による乾杯のご発声で始まる、大変盛況な会となりました。

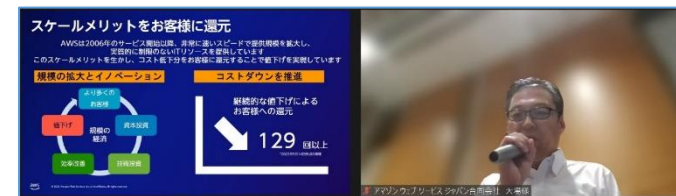


- 開催日：2023年2月14日（水）、会場：オンライン（Zoom）、参加：32社37名
- プレゼンテーション1：[株式会社インターネットイニシアティブ](#)
- 発表製品分類：データ連携プラットフォームサービス
- 発表製品名：IIJクラウドデータプラットフォームサービス
- プレゼンテーション2：[株式会社ROBON](#)
- 発表製品分類：法人税申告書自動作成ツール、グループ通算税制対応ツール
- 発表製品名：「決算ロボット」「通算ロボット」
- プレゼンテーション3：[The ROOM4D株式会社](#)
- 発表製品分類：データ分析基盤の構築、データ人材の派遣事業
- 発表製品名：・データ分析基盤構築サービス
・データ人材の派遣事業
- プレゼンテーション4：[株式会社Engineerforce](#)
- 発表製品分類：SaaS
- 発表製品名：見積もりを基軸とした経営改善ツール



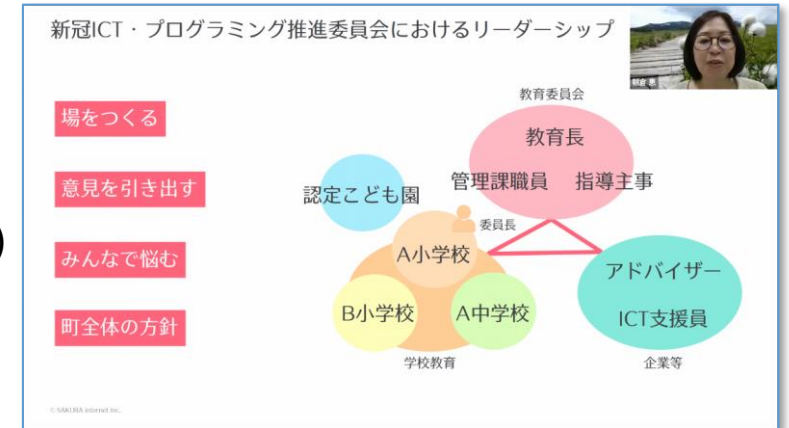
ビジネスマッチング -第151回アライアンスビジネス交流会-

- 開催日：2023年4月25日（火）、会場：オンライン（Zoom）、参加：28社・団体45名
- 特別講演：[アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社](#)
講演者：大場 章弘 様（アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 執行役員 パブリックセクター パートナーアライアンス）
テーマ：「パートナー様との連携で広がるAWS最新動向」
- プレゼンテーション1：[株式会社キャリアブリッジ](#)
発表製品分類：従業員ストレス・エンゲージメント診断+キャリアカウンセリング（SaaS）
発表製品名：SMART CAREER
- プレゼンテーション2：[ブリッジインターナショナル株式会社](#)
発表製品分類：サービス
発表製品名：1. マレーシア進出企業向けサービス
2. 研修サービス
- プレゼンテーション3：[株式会社ラネクシー](#)
発表製品分類：クライアント操作ログの収集・管理ソフトウェア
発表製品名：MylogStar Cloud（マイログスター クラウド）
- プレゼンテーション4：[株式会社アスク](#)
発表製品分類：3D デジタルツイン作成ツール
発表製品名：Matterport



2023年度 第1回会合

- 開催日：2023年6月21日（水）
- テーマ1：学校情報化とリーダーシップのあり方
～北海道の事例をもとに～（さくらインターネット株式会社）
- テーマ2：津和野や萩における地域と連動した学校教育の取り組み
（株式会社Nex-E）



2022年度 第7回会合

- 開催日：2023年1月24日（火）
- 1. 研究会アンケート結果報告
- 2. 次年度活動について

2023年度 第1回会合

- 開催日：2023年4月25日（火）
- 1. 今期の活動内容の共有
- 2. 佐賀県鹿島市（新自治体）のご紹介
- 3. 株式会社フォーラムエイト社の事業紹介
- 4. 佐賀県武雄市から新たな取り組みの紹介

今期の活動方針

- ①武雄市との更なる取り組み。
→スマートシティ化（人流データ活用）の具体的なシステム構築
 - ②武雄市以外の自治体との取り組み
→研究会の皆さまと自治体と接点を持って頂く機会を創出
- ◆今期は佐賀県 鹿島市をモデル地域として取り組みを考えております。
【理由】
- ・武雄市との連携・地域差など
 - ・DXへの取り組み
- 【予定】
- 5月中：アンケート送付（参加のご意向、候補日調整など）
7/25：（次回の定例会）概要のご報告
10月～11月：現地視察、意見交換会など
※メールで随時ご連絡

スマートシティ研究会

安心して住み続けられる 水に強いまちへ

九州地方で初となる六角川が特定都市河川に指定（令和5年3月28日）

指定を受け、できるようになること

- 雨水流出の増加を抑制
⇒1,000㎡以上の新規開発は対策が義務付け
- 流域も貯留・浸透機能の向上
⇒ハード整備の加速化
支援措置等の充実
- 水害リスクを踏まえた土地利用
⇒浸水被害防止区域の指定が可能



国・県・市・企業等、地域のあらゆる関係者の協働による
水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりの推進

AWS・OBCがご登壇！クラウドシフトの勧め

- 開催日：2023年4月7日（金）
- 会場：オンライン（Zoom）
- 参加：41社47名
- タイトル1：クラウド最新事情と活用のポイント
- 講演者1：大場 章弘 氏

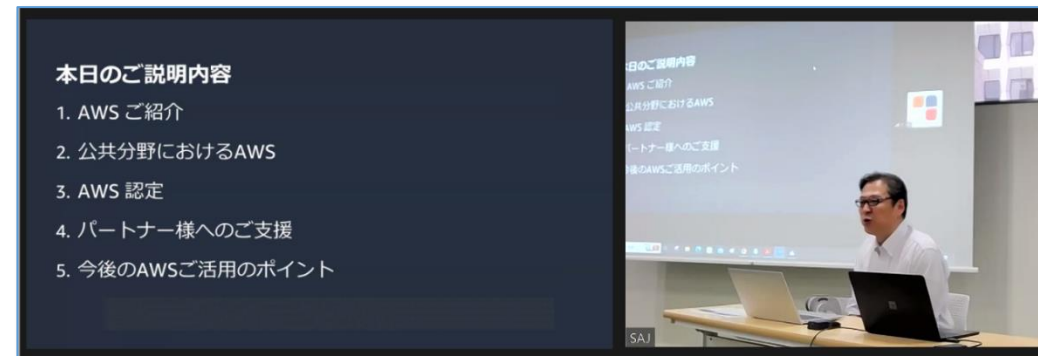
（アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

執行役員 パブリックセクター パートナーアライアンス）

- タイトル2：クラウド 全集中-DX、そしてUX-
- 講演者2：和田 成史 氏

（株式会社オービックビジネスコンサルタント

代表取締役社長）





生成AIにおけるリスクコントロール～ChatGPTは安全か？企業で活用するポイント～

- 開催日：2023年5月26日（金）
- 参加：47社/135名
- タイトル1：生成AIの積極活用に資する法的リスクコントロール
～ソフトバンク法務・知財による課題検討と対応方針のご紹介～
- 講演者1：佐藤 英幸 氏／山口 薫 氏／佐保 優一 氏
(ソフトバンク株式会社 コーポレート統括 法務・リスク管理本部)
- タイトル2：最近の法務の旬な話題
(電気通信事業法／消費者契約法／フリーランスガイドライン)
- 講演者2：黒住 哲理 氏 (東京丸の内法律事務所 弁護士)



- 課題
- 入力データがChatGPTの学習データとして利用される (第三者への漏洩に利用されるおそれ)
- 対応方針：会社業務でChatGPTなどの生成AI利用を許諾する場合は社員が遵守すべき事項を統一化する
- ソフトバンクAI倫理ガイドライン (2022年7月12日制定、公開)
 - ① 入力の信頼性：入力情報の信頼性、正確性、最新性を確保する
 - ② 入力情報の取り扱い：入力情報の取り扱いに際しては、適切なセキュリティ対策を講ずる
 - ③ ChatGPTの業務利用：会社の業務用PCに接続し、[業務用アドレス]で接続し、ChatGPTアカウントで行う
 - ④ ChatGPTの業務利用：[サービス契約/受託のための利用]、[Chat History & Training]をOFFにする
 - ⑤ 入力情報の取り扱い：入力情報の取り扱いに際しては、適切なセキュリティ対策を講ずる
 - ⑥ ChatGPT API提供サービスへの利用は禁止
- 個人データを加工して学習結果を得ていることでサービス事業者が個人データを扱う(提供)と認識せざるを得ない場合は、国内法観点では、適切な法的検討を要し、必要かつ適切な監理を行うことで個人情報の入力が可能となる。ただし、個人データとして扱われる個人情報は、個人データの取り扱いに準じて管理される。
- 一般社団法人日本AIネットワーク協会「生成AIの活用ガイドライン」(2023年5月10日)も参照してください

「生成系AI/大規模言語モデルがもたらすDXの可能性」

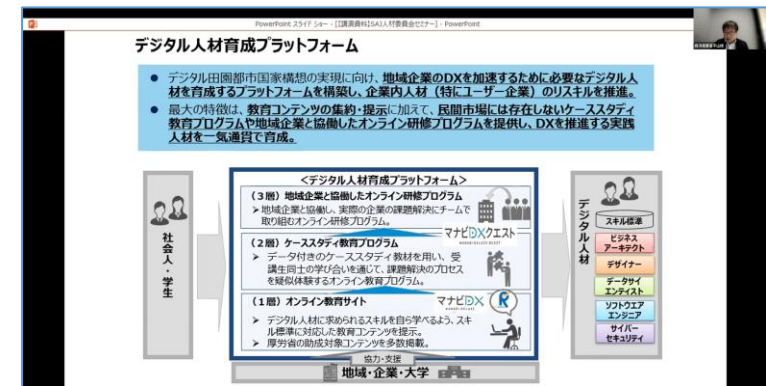
- 開催日：2023年5月25日（木）
- 会場：オンライン（Zoom）
- 参加：39社47名
- タイトル1：『生成系AIの登場で、DXはどう変わるか？』
- 講演者1：竹原 司 氏
（インフォグリーン株式会社 代表取締役社長）
- タイトル2：『ビッグデータ運用管理基盤技術
—大規模言語モデル活用に備えて』
- 講演者2：松田 利夫 氏
（株式会社SENTAN 代表取締役）



竹原主査(右)・松田氏(左)ご講演の様子

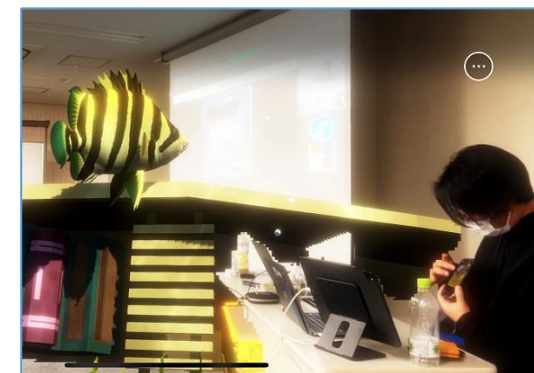
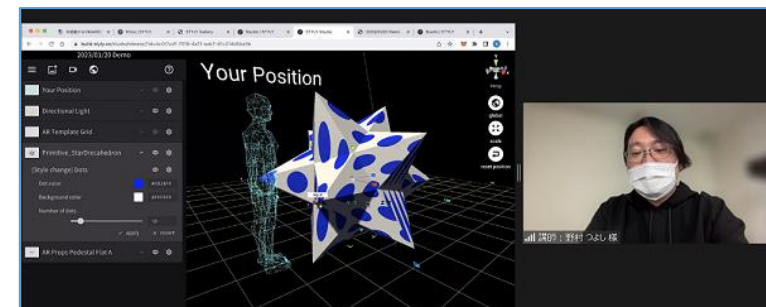
「デジタル時代における人材育成・評価の新機軸「デジタルスキル標準」とは」

- 開催日：2023年2月16日（木）
- 会場：SAJ会議室/オンライン（Zoom）
- 参加：79名（現地参加16名、オンライン63名）
- タイトル1：『デジタルスキル標準を含む経済産業省のデジタル人材育成及び企業のDX推進に係る施策について』
- 講演者1：平山 利幸氏
（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課
デジタル人材政策企画調整官）
- タイトル2：『デジタルスキル標準が示す、
これからの時代のロールとスキルについて』
- 講演者2：藤中 紀孝氏
（独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
人材プラットフォーム部 研究員）



メタバースって結局何ができるんだ？開発手法&体験セミナー

- 開催日：2023年1月20日（金）
- 参加：43社67名
- タイトル1：メタバースの市場動向と事例
- 講演者1：鬼武 洋孝 氏（株式会社NTTデータNJK 新規事業推進室）
- タイトル2：メタバースとXRとSTYLY～なにがどうなってなんなんだ～
- 講演者2：野村 つよし 氏（株式会社Psychic VR Lab 執行役員）



なぜ？で考える ChatGPTの不思議

- 開催日：2023年3月10日（金）
- 参加：65社142名
- 講演者：丸山 不二夫 氏（MaruLabo 代表理事）



ChatGPTは、どう実装されているのか？

ChatGPTは、「人間のフィードバックからの強化学習」
"Reinforcement Learning from Human Feedback (RLHF)" と呼ばれる手法に基づいて、次に見るような三つのステップで訓練されている。

この手法は、ChatGPTのプロトタイプであるInstructGPTで導入されたものである。

ChatGPT: Optimizing Language Models for Dialogue
<https://openai.com/blog/chatgpt/>

5Gの現状と法人活用へのチャレンジ～ソフトバンク社の事例から学ぶ～

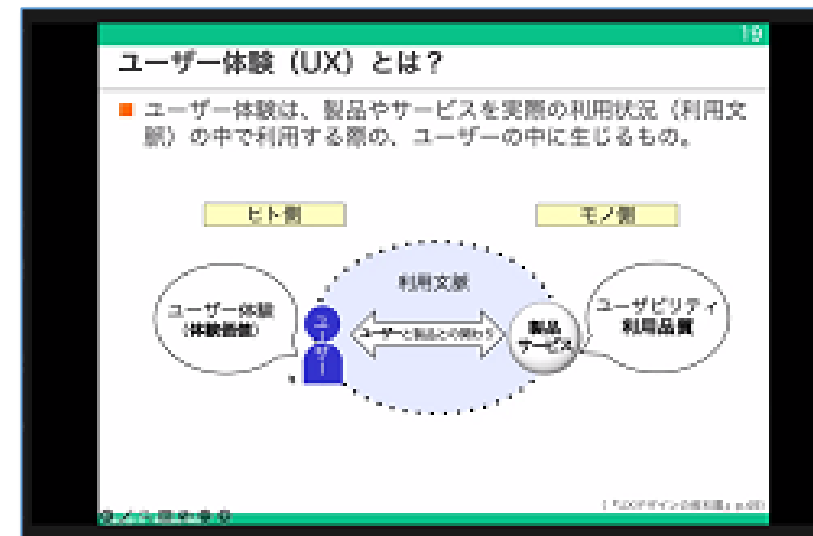
- 開催日：2023年5月11日（木）
- 参加：30社/45名
- 講演者：梅村 淳史 氏
(ソフトバンク株式会社 法人プロダクト&事業戦略本部)



UXデザイン～ビジネスへのインパクトと組織への導入～

- 開催日：2023年5月16日（火）
- 会場：オンライン（Zoom）
- 参加：42社93名
- 講演者：安藤 昌也 氏

（千葉工業大学 先進工学部 知能メディア工学科 教授）



「食」の安全と流通を考える～食料安全保障とトレーサビリティ～

- 開催日：2023年1月27日（金）
- 参加：21社26名
- タイトル1：食料安全保障と食の安全
- 講演者1：山下 一仁氏
（一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
- タイトル2：日本の消費を支えるフィリピン産バナナ
～安定した生産の継続と今後への期待～
- 講演者2：給田 茂哉氏（株式会社ユニフルーティー ジャパン
Sr. Department Manger）

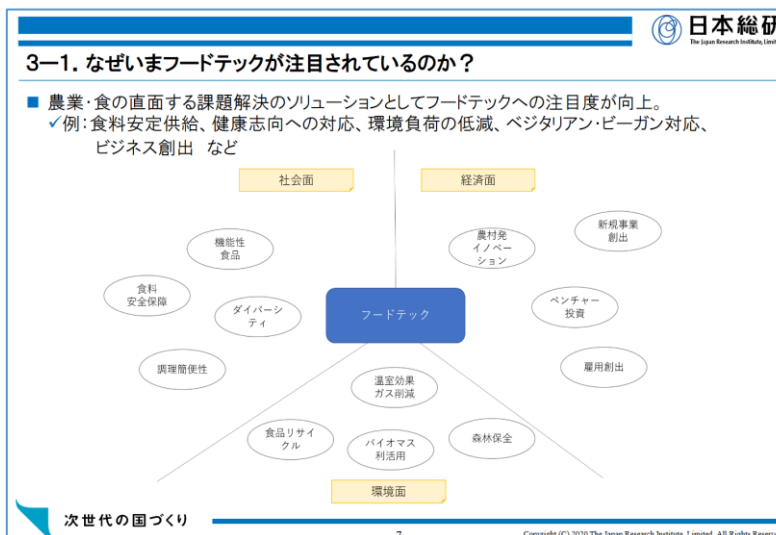
農政の国際比較

項目	国	日本	アメリカ	EU
生産と関連しない直接支払い		×	○	○
環境直接支払い		△（限定した農地）	○	○
条件不利地域直接支払い		○	×	○
減反による価格維持+直接支払い（戸別所得補償政策）		●	×	×
1000%以上の関税		こんにゃくも	なし	なし
500-1000%の関税		コメ、落花生、 でんぷん	なし	なし
200-500%の関税		小麦、大麦、バター、 脱脂粉乳、豚肉、 砂糖、雑豆、生糸	なし	バター、砂糖 （改革により 100%以下に引 下げ可能）

（注）○は採用、△は部分的に採用、×は不採用、●は日本のみ採用

フードテック最前線～SDGsの達成と持続可能で儲かる農業とは～

- 開催日：2023年6月6日（火）
- 参加：18社28名
- タイトル：持続可能で儲かる農業を実現するフードテック、アグリテック
- 講演者：三輪 泰史氏（株式会社日本総合研究所 創発戦略センター
エキスパート）



「顔画像の防犯利用と商業利用の進め方」

- 開催日：2023年5月9日（火）
- 参加：27社37名
- 講演者：稲本 義範 氏
（工業会 日本万引防止システム協会（Jeas）
会長・個人情報管理室長）



Software ISAC 情報共有会

- 開催日：2023年3月2日（木）
- 参加：29社34名
- タイトル1：ISAC共有会
- 講演者1：萩原 健太 氏
(SAJ理事/Software ISAC共同代表
株式会社ビジネスブレイン太田昭和 CMO)
- タイトル2：法人向けIoT機器のセキュリティ対策について
- 講演者2：引地 信寛 氏（一般社団法人ICT-ISAC 事務局長）



生産性向上支援訓練第5弾 「新サービス・商品開発の基本プロセス」

～ヒット商品は、こうして生まれた～

- 開催日：2023年2月2日（木）・3日（金）
- 参加：7社/30名
- 講演者：樋口 匠 氏（株式会社Globable）

生産性向上支援訓練第6弾 「顧客分析手法」～データマイニング手法の活用～

- 開催日：2023年2月7日（火）・8日（水）
- 参加：8社/16名
- 講演者：山森 直樹 氏（株式会社サートプロ）

生産性向上支援訓練第7弾「テレワーク業務における労務管理」

～労務管理きちんとできていますか？～

- 開催日：2023年2月28日(火)・3月1日(水)
- 参加：8社/12名
- 講演者：池上 文人 氏(株式会社サートプロ)

2023年1月11日（月）

- [U-22プログラミング・コンテスト2023開催！！スポンサー企業募集開始](#)

2023年4月10日（月）

- [U-22プログラミング・コンテスト2023 応募要項発表！](#)
- [U-22プログラミング・コンテスト2023 キービジュアルはU-22世代が制作！U-22キービジュアルコンテスト／U-22プログラミング・コンテスト 応募要項同時公開！](#)

2023年6月13日（火）

- [協会広報を強化。委員会・研究会の活発な活動を公開するオウンドメディア開設](#)

2023年7月3日（月）

- [U-22プログラミング・コンテスト2023 7月3日から応募受付開始！](#)

医療情報セキュリティ研修およびサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援事業

～延べ4800医療機関・団体/7000名受講～

事業期間：2022年9月27日～2023年3月31日

目的：医療機関における更なるサイバーセキュリティ対策の徹底を図るため、医療従事者や経営層等へのセキュリティ対策研修およびサイバーセキュリティインシデントが発生した際の初動対応支援を実施

実施内容：（1）サイバーセキュリティ対策にかかる医療機関向け研修の実施。

3階層に別けオンライン研修および、全体説明会・セミナーの実施。

研修階層	開催日	参加者数
経営者向け研修	2023/1/24	369病院 447名
	2023/2/21	259病院 312名
システム・セキュリティ管理者向け	2023/1/26	489病院 620名
	2023/2/2	446病院 569名
	2023/2/9	447病院 560名
	2023/2/16	404病院 506名
初学者・医療従事者向け	2022/12/20	323病院 375名
	2023/1/20	389病院 578名
	2023/2/20	420病院 533名
	2023/3/3	368病院 405名
医療機関におけるサイバーセキュリティ対策セミナー	2023/2/15	887医療機関・団体 2056名

(2) 継続的な教育支援

研修コンテンツの情報収集や作成、ポータルサイトの作成、運用を実施



<https://mhlw-training.saj.or.jp/>



サイバーセキュリティ啓発コンテンツ



研修コンテンツの収集等

(3) 平時のサイバーセキュリティインシデント対応手順の調査およびBCPの見直し提案

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5.2版」をもとに調査項目を作成し、医療機関への現状調査を実施

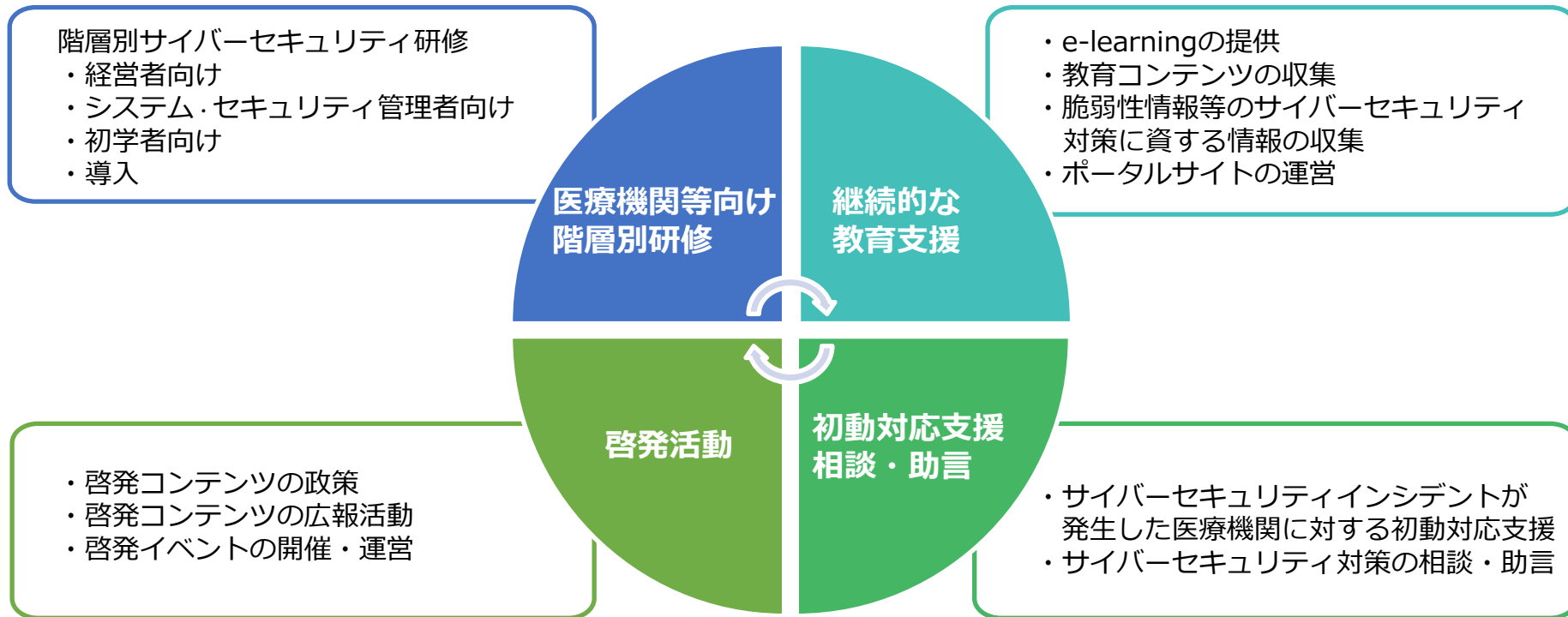
(4) サイバーセキュリティインシデントが発生した医療機関の初動対応支援

厚生労働省が所管する医療機関においてインシデントが発生した際に、最大4病院を上限に、サイバーセキュリティインシデントへの対応支援を実施 インシデントの早期解決への尽力や厚生労働省への報告などを実施

令和5年度医療情報セキュリティ研修およびサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業

事業期間：2023年5月1日～2024年3月31日

目的：令和4年度に引続き、医療機関のサイバーセキュリティ対策の徹底を図るべく、ポータルサイト運営とそれを活用した医療従事者や経営層等へのセキュリティ対策研修の告知・関連資料の配信等、e-learning等研修の実施およびサイバーセキュリティインシデントが発生した際の初動対応支援を実施



● プライバシーマーク審査事業（2023年4～6月）

1. プライバシーマーク審査判定委員会（2023年4月～6月）

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計3回の委員会を開催し、付与適格決定32社（更新25社、新規6社、組織変更1社）、個人情報事故措置20件を決定いたしました。

2. 2023度プライバシーマーク審査事業実施状況（2023年4月～6月）

	更新	新規	組織変更	合計	目標対比	入会数	他審査機関からの乗換	更新辞退又は他審査機関への乗換	実質増減数
2022年度 実績	99社	31社	3社	133社	102.3%	32社	1社	38社	-6社
2023年度 経過	70社	8社	1社	79社	56.4%	16社	0社	2社	6社

データ適正消去実行証明書発行事業



データ適正消去実行証明協議会（略称ADEC）からの委託を受け、SAJでは「データ適正消去実行証明書」の発行業務を行います。

●実施概要

ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」で消去プロセス認証を取得した企業様を通じて、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

ADECとはデータの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型IT社会の実現に寄与することを目的として設立された協議会です。

お問い合わせ先
一般社団法人ソフトウェア協会 DE推進室



PSQ認証制度

ソフトウェア品質の国際規格ISO/IEC25051:2014に準拠した第三者適合性評価で、

貴社製品をもっとアピール！

国産既製ソフトウェア製品/クラウドアプリケーションの品質の高さが世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格であるISO / IEC 25051:2014を評価基準として参照して構築された品質認証制度です。



- PSQ-Lite <簡易認証>
- PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<https://www.saj.or.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

お問い合わせ先

一般社団法人ソフトウェア協会 PSQ認証室

TEL:03-3560-8440 E-mail:psq_info@saj.or.jp

- **U-22プログラミング・コンテスト2023/第2回U-22キービジュアルコンテスト**
締切は8月31日まで！コンテストを支援するプロコン応援団も募集中！

U-22プログラミング・コンテストは、22歳以下の若者を対象に、自らのアイデアを「プログラミング技術」で表現する作品提出型のコンテストで、今年の応募期間は7月3日～8月31日までとなっています。同時にU-22世代から募集する「キービジュアルコンテスト」も併催し、若者ならではのアイデアで、同年代の応募を訴求するとともに、エンジニア・クリエイターが共に成長することを期待しています。

企業の皆様におかれましては、若い人材を応援すべく、コンテストをサポートいただくプロコン応援団（1口5万円）も募集中です。ご興味のある企業様は事務局（u22-info@saj.or.jp）までご連絡をお願いします。





SAJ のロゴで使用されている 3 色は、SDGs のアイコンから、SAJ の活動方針と親和性が高い「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」のオレンジと、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」のネイビーブルーを組み合わせ、さらに日本国旗の赤をモチーフとしました。

SAJ活動Pickup
2023年1月～6月
2023年8月14日発刊

〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル
TEL:03-3560-8440
<https://www.saj.or.jp/>

